令和3年7月1日

多収米生育調査状況
しきゆたか速報 No.6

目標単収を適期管理で越えていく!!

ＪＡ福井県
福井基幹支店
多収米部会

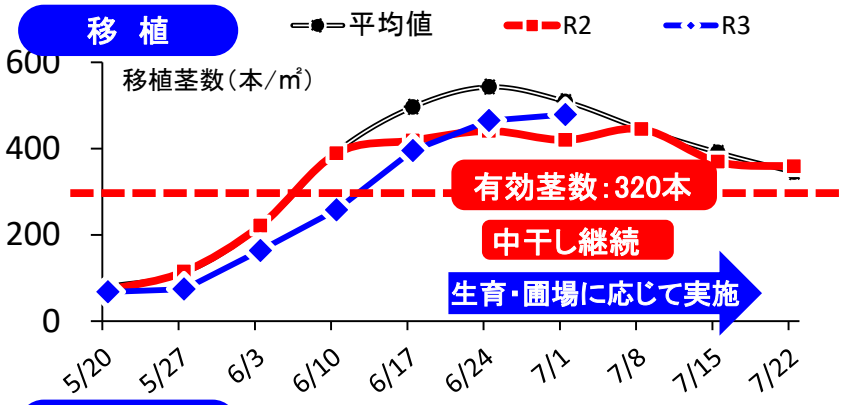
● 最高茎数到達の兆し。間断通水の継続。追肥の適期施用の検討。

1．ＪＡ生育調査状況（7月1日現在）

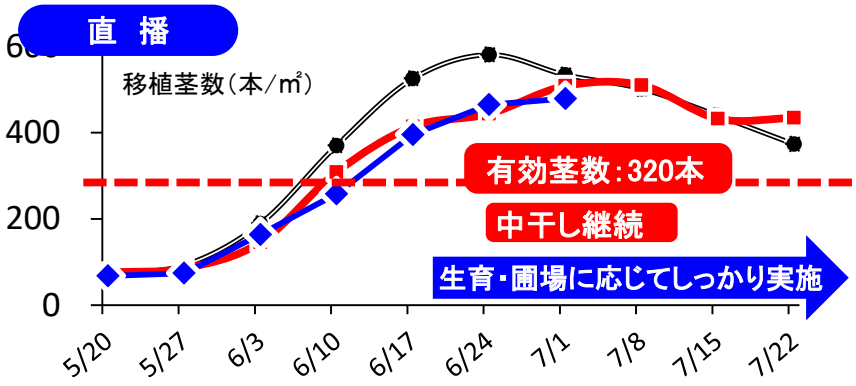
栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 ㎡	葉令	葉色
移植	R3	5月3日	57.7	479.0	9.8	4.4
	R2	5月1日	68.7	419.9	10.0	4.0
直播	R3	5月5日	50.7	631.4		4.1
	R2	5月2日	55.7	508.2	9.3	4.4

2．茎数の推移と今後の管理

移　植



直　播



6月の気象は、日平均気温22．8度、最高気温32．9度、最低気温13．8度、日照時間171．9(h)となりました。梅雨入り後も断続的な降雨は確認されず、散発的な雨天模様が続いています。今後は、本格的な梅雨の真っ只中に突入しますので、いもち病や紋枯病に注意し予防剤や治療剤を積極的に散布しましょう。

しきゆたかの管理

梅雨入りしましたが、少雨の影響で十分に乾いている圃場が昨年より多いと思います。今後も中干し→間断通水を実施しましょう。
昨年、倒伏した圃場や茎数増加が止まらない圃場は強めの中干しを推奨します。

移植

茎数は平年値並みに追随の兆し、有効茎数320本/㎡は確保しています。また、葉色が薄い場合は追肥を散布しましょう。タイミングを見逃すと草丈や無効茎数を増加させる場合があります。

- ■ 中干し継続：幼穂形成期直前まで。
- ■ 追肥：葉色4以下の圃場は散布。

直播

茎数は昨年並み、有効茎数320本/㎡より多く確保しています。移植よりも根張りが地中まで伸びにくいため、水管理にて根の活力を維持しましょう。

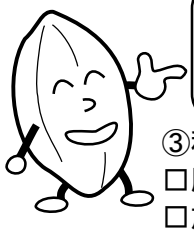
- ■ 中干し継続：幼穂形成期直前まで。過繁茂の圃場は、暗渠を開放して強めの中干し。

3．幼穂形成期の葉色管理

①幼穂形成期
■ しきゆたか　：　7月15日～

葉色の低下（肥料不足）は未熟粒や乳白粒の増加で、低単収・等級落ちに!!

②葉色の管理
■ 水管理で一発肥料の効果を高める。
■ 葉色が4以下の場合は穂肥を散布。



【未熟粒】

【乳白粒】

③穂肥の施用
□肥料　：　ｱｸﾞﾘﾌﾗｯｼｭ444
□施肥量　：　7～14kg/10a（N：1～2kg）

7月3日（土）、7月4日（日）は県下一斉草刈DAY（この時期の草刈は殺虫剤散布に匹敵します。）

的確な穂肥で、収量アップを目指しましょう。今週の多収米速報は『東部支店』が担当しました。